



公益財団法人 鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation
公益財団法人鳥取県国際交流財団

とっとり国際通信

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN / 鳥取国際通讯

No. 126
June, 2018



写真 「本所リニューアル開所式 県民ふれあい会館玄関名称看板除幕式」
(左からピリッソフさん、林さん、能勢理事長、平井知事、西川県議会地域振興常任委員長、川口さん)
Head Office Renewal Opening Ceremony: Unveiling the Entrance Signboard
本所重新开所仪式 县民ふれあい会館玄関名称招牌揭幕仪式

目次 Contents 目录

新しい本所を
紹介します!

02-03

海外レポート

06

英語版・中国語版ダイジェスト

08-09

TPIEFだより

04-05

財団で「ボランティア
しています!」

07

財団職員の「ここが違っておもしろい!」 10

- ・平成30年度の主な事業紹介
- ・日本語クラスのご案内
- ・賛助会員募集のお知らせ
- ・新事務局長 着任のご挨拶

・小山 哲儀さん(ホームステイ)

JICAデスクより

07

ワールドレシビ

10

・酔鶏(台湾)

新しい本所を 紹介します!



本所の事務所は、平成30年4月1日に鳥取駅南の鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館）3階に移転しました。装いも新たに
なった事務所では、鳥取駅南という立地を活かし、関係機関との連携を深めるなど新たなニーズに対応していくほか、コミュニケーション（言葉）支援や人材育成、国際理解を進める事業を地域に出かけて実施するなど、これまで以上に身近に感じていただけるよう事業を
展開していきますので、皆様ぜひご活用ください!



▲県民ふれあい会館 入口



▼3階です!



▲受付カウンター



▼日本語学習教材など豊富な図書

リニューアル開所式

平成30年4月7日（土）、本所移転に伴うリニューアルを記念して、開所式と講演会
を開催しました。当日は、日頃お世話になっている関係機関やボランティアの方々など
約80名の皆さんにお越しいただきました。



理事長あいさつ

能勢 隆之

盛大にリニューアルの日を迎えることができたことを喜んでおります。

財団は異文化を理解するという
ことをコンセプトの中心に様々な事業を作っています。異文化
はそれぞれの国にそれぞれ文化があるということであり、理解す
ることはなかなか難しいです。

とはいえ、鳥取県の大きなタスクに、人口減少に伴う人口確保
の問題もあれば、若者の後継者がいないという問題もあります。
特に鳥取県の中小企業は労働力が必要です。外国から来ていた
だき、日本の中で違和感なく生活できるような文化を作っていけ
たら、鳥取県の発展に寄与することになり、財団として皆様に貢
献できるのではないかと思います。よって新しい方向としては、鳥
取県が今抱える問題を含めて新しい鳥取県、世界的に開かれた、
国際交流豊かな県を作っていけたらと考えております。



ご来賓あいさつ

鳥取県知事 平井 伸治 氏

鳥取県国際交流財団の記念式
典の挙行をお祝い申し上げます。

たくさんの方が海外から
鳥取県に来られるようになりまし
た。県内にいわばワールドワイドなコミュニティが生まれはじめ
ています。日本語教室や様々な異文化の共生を理解していただ
くため、国際交流を進めていくための事業が行われています。そ
ういう意味で財団が一層機能強化しなければならないターニン
グポイントを迎えるに至りました。今回、鳥取駅に近い交通の便
利な場所にできることは、様々な使命を果たしていく上で大きな
力になってくると期待しています。

鳥取県は、世界各地と姉妹都市提携を進めているところです。
もう世界の中で孤立する地域ではなくなりました。国際交流を結
ぶことは、単に人と人、地域と地域とのことだけではなく、世界に
貢献することだと知らされます。全て敵ではなく友人として接し
ていくこと、それが国際交流の精神であり、財団の使命だと思っ
ています。



「外国人から見た鳥取の暮らし ～多文化共生の実践～」

会場／県民ふれあい会館4階 大研修室

講演者／川口 斐斐さん^{フェイフェイ} (台湾出身、Sun-in台湾人会会長、
多文化交流教室 日華ふれんず代表)

レミー ビリツソワさん (フランス出身、パン工房勤務)

リン ソンザイ

林 祖財さん (中国出身、会社勤務)



川口 斐斐さん

財団主催の多文化共生ネットワーク会議に参加することになり、外国人が日本で暮らす中で、さまざまな困難をどう乗り越えたか、長く住む外国人が来日間もない外国人をどうやって助けられるかなどについて議論してきました。この会議は、県内各地域でそれぞれ異なる国籍6名の外国出身者が集まって自分の経験をもとに会議をして意見を出し合います。私たちは行政ばかりに頼るのではなく、日本の方々に頼るのでなく、また多文化共生にどう役立てていくかについて、この2年間考えてきました。

来日当初、私は着物くらいしか知りませんでした。和式トイレの使い方も知りませんでした。その頃、妻に「我慢してください。我慢すれば何事も上手くいく。」と言われました。私は耳が不自由なため、不安もありましたが、妻との出会いのおかげで日本の生活をスタートできました。その後、ある人との出会いによって日本語と日本語の手話を教えてもらうことになり、毎日その方の自宅へ通いました。また別の人との出会いもあり、その人からは日本語の文法を教えてもらいました。この2人のおかげで、本当の意味で日本の生活が始まりました。日本語は一年半くらい勉強しました。

車の運転免許を取得したとき、免許をもらった翌日に警察に捕まってしまいました。理由は「朝7時～9時までは通行禁止」の標

識がある道路に侵入してしまっただけです。しかし、当時の私にはその理由が分からず、警察の人にも通じませんでした。結局そのまま15～20年間経過して、ようやく警察の方に聞くことができ、理由が分かりました。これまでさまざまな経験がありましたが、皆さん「努力は結果で見える!」です。

外国人が来日した時にぶつかる「言葉の壁」は「心の壁」を作ります。言葉は大事です。日本語がまだ上手く話せなかった大学時代に先輩が教えてくれた言葉は「はい、がんばります!」でした。この一言で乗り越えられた場面がありました。それから外国人が鳥取県に定着していくためには仕事が必要です。県内も外国人の働き手によって成り立っている企業があります。しかしこうした社会づくりは一個人では実現が難しいでしょう。今年1月、財団は県の各部署の方々と連携していくため、アドバイザーとして島根県から多文化共生マネージャーを招いて推進会議を実施しました。これは私たちにとって画期的な取り組みとなりました。外国人が定着しやすい行政づくりをお願いしたいと思います。鳥取県もリニューアルしていきましょう!「はい、がんばります!」(笑)

レミー ビリツソワさん

先生を通じて同じクラスの生徒に交代で私の教科書にある漢字にルビを付けるようお願いしてくれたのです。これによってクラスメートとコミュニケーションが取れるようになりました。鳥取県内でも外国籍児童への日本語学習支援がありますが、ぜひ同時に心のケアもしていただきたいです。そして外国出身者側も、自分が困っているときに助けを待っているだけでなく、自分から発信することも大切です。外国出身者にとっては日本の文化に手が出せないこともあります。それも日本人側がサポートしてくれることによってプラスになります。

今でも忘れられない日本語学校時代の恩師の言葉があります。それは「みな地球人である」という思い。外国人と触れ合う際にどこの国の人ということではなく、多様性を認め合える社会になってほしいです。



林 祖財さん

日本に来たのは15歳の時でした。日本語が全く分からないまま、1学年下げて中学校2年生に編入しました。最初は全く授業についていけませんでした。たまたま地域に外国出身児童に日本語を教える学校があったので、週2回「あいうえお」から日本語の勉強を始めて、約一年間通いました。日本語学校の先生は宿題として日記を出し、毎回添削してくれました。日記は一年間で6冊になり今でも大事にしています。また、当時、周りとのコミュニケーションに苦労していた私を見て、日本語学校の先生は担任の

先生を通じて同じクラスの生徒に交代で私の教科書にある漢字にルビを付けるようお願いしてくれたのです。これによってクラスメートとコミュニケーションが取れるようになりました。鳥取県内でも外国籍児童への日本語学習支援がありますが、ぜひ同時に心のケアもしていただきたいです。そして外国出身者側も、自分が困っているときに助けを待っているだけでなく、自分から発信することも大切です。外国出身者にとっては日本の文化に手が出せないこともあります。それも日本人側がサポートしてくれることによってプラスになります。

今でも忘れられない日本語学校時代の恩師の言葉があります。それは「みな地球人である」という思い。外国人と触れ合う際にどこの国の人ということではなく、多様性を認め合える社会になってほしいです。

平成30年度財団の主な事業をご紹介します!



今年度も多文化共生の社会づくりを実現するため、県民の国際理解と地域の活性化に貢献するさまざまな事業を展開していきます。詳しい事業内容については、随時、鳥取県国際交流財団ホームページ等でご案内していきますので、ご覧ください。

NEW 防災・災害時支援事業及び多言語相談業務

今年度は、財団ホームページを改修し、パソコンはもとよりスマートフォン、タブレットでも見やすく改良することに併せ、「多言語情報ページ」を設け、ネットワーク会議委員が核となって充実した多言語による情報発信システム(委員等の協力により11言語(英語、フランス語、中国語(簡体字、繁体字)、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、韓国語、タガログ語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語)による防災・生活情報の発信や多言語テンプレートによる相談の受信(回答)及び専門機関への同行や相談内容に応じた専門機関との連携を行います。(2018年度秋には稼働予定)



◆通訳ボランティアスキルアップ講座

県内で開催される大規模スポーツ大会やキャンプ誘致へ向けて、来県する外国人選手等への受入支援やおもてなし等を行うための通訳ボランティア(英語)のスキルアップを図る講座を東・中部会場(6月末~7月)、西部会場(7月~9月)で実施します。

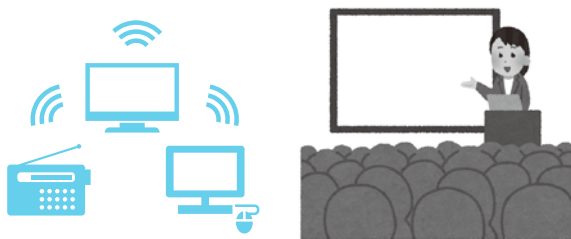
<予定されている国際大会>

- ・ワールドカデットチャレンジ大会2018
<10/23-31(鳥取県民体育館)>
- ・クライミングアジア選手権大会2018
<11/7-11(倉吉体育文化会館)>
- ・2019レーザー級世界選手権大会
<2019.7月(予定 境港公共アリーナ及び美保湾)>



◆本所移転リニューアル広報事業

新聞・テレビ・ラジオ・インターネットなどのメディアミックスによる時期を集中した広報に加えて、多様な文化理解と共生をテーマとした講座(セミナー)を開催するなど、様々な手法で在住外国人のみならず地域で財団の存在を知っていただくことで、幅広く利用者を開拓していきます。



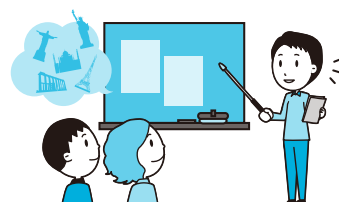
◆米国バーモント州との青少年交流促進事業

国際的視野を持った青少年の育成と鳥取県と米国バーモント州との交流促進のために、県内の高校生等をバーモント州に派遣します。派遣中はホームステイを通じて生きた英語に触れながら文化や生活習慣を学び、現地の高校生と共に環境学習や学校生活の体験などの交流プログラムを行います。(派遣は10月中下旬予定)



◆多文化共生ネットワーク・ステップアップ事業

多様な文化を持つ人々が尊重し合いながら生活していく地域づくりに向けて、「多文化共生ネットワーク会議」を開催するとともに、その会議の代表者と国・県・市町村等の関係機関実務者も加わった「多文化共生ネットワーク推進会議」を開催します。また、地域の方々と共に学び交流する協働事業を企画し実施します。



第1期

日本語クラス開講のお知らせ

受講料 **無料**

※クラスによって別途テキスト代が必要

問合せ：鳥取県国際交流財団 各事務所（連絡先は最後のページをご覧ください）

		日 時		会 場	
東 部 (本 所)	4/8~8/5 (計18回)	日曜日	0クラス	9:30~11:00	財団本所 (鳥取市扇町21 県民ふれあい会館3F)
			Aクラス (基礎)	11:00~12:30	
			Bクラス (初級会話)	13:00~14:30	高齢者福祉センター (鳥取市富安2-104-1)
			Bクラス (生活漢字)		
			Cクラス (中級)	14:40~16:10	ざざんか会館 (鳥取市富安2-104-2)
子ども 日本語コース	13:00~16:00				
中 部 (倉吉事務所)	4/11~7/25 (計16回)	水曜日	水曜日クラス	13:30~15:00	鳥取県中部総合事務所別館 (倉吉市東蔵城町2)
	4/8~7/29 (計15回)	日曜日	日曜日クラス(Aクラス基礎)	13:30~15:00	鳥取県立倉吉体育文化会館 (倉吉市山根529-2)
日曜日クラス(Bクラス応用)			15:15~16:45		
西 部 (米子事務所)	4/15~7/29 (計13回)	日曜日	A(Step1)クラス	10:15~11:45	米子コンベンションセンター (米子市末広町294) または米子市文化ホール (米子市末広町293)
			B(Step2)クラス		

「日本語ボランティア」として支援していただける方も随時募集しています。関心をお持ちの方は、お気軽に各事務所にお問合せください。
(クラスで学習者と同じテーブルにつき、補助的な説明や会話練習の相手役をお願いしています。)

【公益財団法人 鳥取県国際交流財団】

あなたもぜひ、賛助会員に!

当財団では、県民の皆様の幅広い支援・参加を得て、皆様とともに県民参加型の国際交流事業を進めていくため、趣旨に賛同して下さる賛助会員を広く募集しています。

国際交流に興味はあるけど何から始めればいいのか分からないとお悩みの方も、まずは当財団の賛助会員に!きっと楽しい世界が広がるはずです。

皆様のご入会をお待ちしております!!

入会方法

財団の各事務所にて入会を受け付けています。また、公共施設にも申込用紙を置いてありますので、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

※会員期間は、毎年度4月1日から翌年の3月31日までです。※途中入会の場合、年会費は入会月に合わせて割引になります。

【入会対象者と年会費】

個人会員	1口/ 2,000円
学生会員 (高校生以下)	1口/ 500円
団体会員	1口/ 10,000円

会員特典

- 特典1 財団機関紙(年4回)
「とっとり国際通信」の送付
- 特典2 財団図書貸し出し増冊サービス
- 特典3 提携飲食店、観光施設等における割引などのサービス
- 特典4 提携旅行会社の
パック商品等の優遇割引

※提携している飲食店、観光施設、旅行会社等とサービス内容については、ホームページに掲載しているほか、一覧表を機関紙とともに送ります。

財団の新しい仲間の紹介

新事務局長 着任のご挨拶

今年4月に当財団の事務局長となりました名越です。

国際交流の仕事は、10年くらい前に携わりました。初めての国際交流業務で、外国語が話せるわけでもなく、国際交流員や上司を含め多くの職員に助けられながら、時には遅くまで仕事をしたことを思い出します。去る4月下旬にはアメリカ・バーモント州の高校生の来訪、交流事

業に関わりましたが、現在の高校生の語学力に驚かされるとともに、うまくしゃべることができないまでも、単語を思い出し身振り手振りで、また友達に聞きながらも自ら話そうとする姿勢にある種の感動も覚え、改めて、交流の原点を再確認させられた気持ちになりました。また、このような交流を支え、ホストファミリーとして受け入れられ、交流をされている皆様に感謝と敬意を表したいと思います。

これからも日々のお会いを大切にするとともに、交流している皆様を支えられるよう努めながら、自らもチャレンジ精神を大切にがんばりたいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。



公益財団法人 鳥取県国際交流財団
事務局長 名越 善彦